

退職後の20年間

北海道新聞

16版

2013年(平成25年)5月31日(金曜日)

## わたしの周りは

超高齢社会

## 退職後の20年間

名所旧跡や名湯めぐりを兼ねた自然観察や登山、植樹や草刈りのボランティア、子どもたちの森林環境教育」。元北海道森林管理局(現北海道森林道営林局)職員で札幌市南区の小林文男さん(79)はNPO法人森林遊びサポートセンター(札幌)の理事長を務める。前身組織の札幌森友会から数えて22年間で約1,600回の行事を重ね、参加者は延べ4万人近くに達する。道内の登山、散策、自然観察などの約350回の札幌森友会から数えて22年間で約1,600回の行事を重ね、参加者は延べ4万人近くに達する。

## 40年の総労働時間と同じ

「スケジュールに入れる小林さんはこう強調する。「私は幸運。現役の約40年間、森林の勉強をしたこと

が、その後の20年余の活動に役立っている」。現役時代の大半は道内で国有林の造林、森林管理などの仕事に従事。1991年の退職とほぼ同時に札幌森友会を組織し、現在のNPO法人森林遊びサポートセンター(札幌)の理事長を務める。前身組織の札幌森友会から数えて22年間で約1,600回の行事を重ね、参加者は延べ4万人近くに達する。

「森林づくりで地球温暖化防止の社会貢献ができる、森林に囲まれる」と満足そうだ。小林さんのように40年間のNPOに至っている。森林づくりで地球温暖化防止の社会貢献ができる、森林に囲まれる」と満足そうだ。小林さんは、小林さん

生活面に続く

## 10万時間何しますか?



NPO法人の活動で、芽吹き始めた幼木を手にする小林文男さん(札幌市北区)

2013年(平成25年)5月31日(金)

40年の総労働時間と同じ

公益社団法人北海道森と緑の会発行  
みどりのGift(ギフト)No.60

平成25年(2013)3月1日

## 登山、旅行、講演と多彩



森づくりで多数の賞を受賞している(森林遊びサポートセンター)。森林整備から登山や旅行、体験講座まで、アーチを幅広く楽しむ精神が、息の長い活動を支えています。

「GREEN REPORT」～緑化だより～では、北海道森と緑の会と一緒に緑化活動に励む元気で活発な団体や事業を紹介します

自然に感謝し、森づくりで恩返し

report  
01

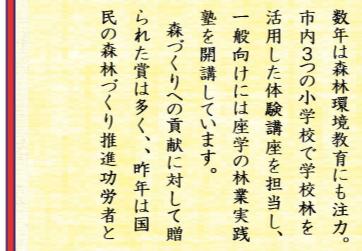
## 森林遊びサポートセンター



活動内容は、アウトドアアクティビティが主体。会員アンケートで行き先を決める登山会や納山会は人気が高く、森づくりや森林環境教育の事業も含めると行事催行が昨年末で延べ1,583回、参加人数は述べ3万9,087人に達しました。

平成6年に、「森の恵みを受けた、自然や登山に詳しい講師を同センターの前身は、山で知り合った登山愛好家たちが声掛け合って平成3年に結成した札幌森友会です。15年にNPO法人格を取得し、現在の名称に改名しました。

活動内容は、アウトドアアク



テイビティが主体。会員アンケートで行き先を決める登山会や納山会は人気が高く、森づくりや森林環境教育の事業も含めると行事催行が昨年末で延べ1,583回、参加人数は述べ3万9,087人に達しました。

平成6年に、「森の恵みを受けた、自然や登山に詳しい講師を同センターの前身は、山で知り合った登山愛好家たちが声掛け合って平成3年に結成した札幌森友会です。15年にNPO法人格を取得し、現在の名称に改名しました。

活動内容は、アウトドアアク



植林や交流で環境保全活動内容は、アウトドアアクティビティが主体。会員アンケートで行き先を決める登山会や納山会は人気が高く、森づくりや森林環境教育の事業も含めると行事催行が昨年末で延べ1,583回、参加人数は述べ3万9,087人に達しました。

活動内容は、アウトドアアク

た、自然や登山に詳しい講師を同センターでは年2回、内容充実の会報「もりのとも」を発行しています。活動報告個々の会員から届いた登山、旅行、行事です。

会報には楽しい報告満載

して林野庁長官から感謝状が授与されました。

今年法人化10周年の同センターは、かつて会を立ち上げた仲間たちのように、アウトドアを待ちっています。

植林や交流で環境保全

会報には楽しい報告満載

自然に感謝し、森づくりで恩返し